

第3回 地域と市長の対話会でいただいたご意見への回答

※平成30年10月に地区からいただいたご意見

畑中地区最大の関心事は南中学校の存続です。しかし残念ながらその地区の思いとは裏腹に児童生徒たちの減少という現実を見るとき廃校も認めざるを得ないところであります。そこで一同気持ちを切り替えなんとか南野地区に人を呼び込む手段として南中跡地に避難所を兼ねた現存の総合センター以上の内容を備えた施設の建設を熱望するところです。(コミュニティーセンター)

A.

長期施策へ反映

四條畷南中学校敷地の跡地利用に関しては、防災機能を有した複合施設と子ども達が自由にボール遊びができる公園を整備する方向で検討を進めています、なお、複合施設については、市民ホール、図書館、貸室、歴史民俗資料館及び体育館など、生涯学習やコミュニティの拠点を形成する用途を予定しています。

第2回及び第3回地域と市長の対話会当日にいただいたご意見への回答

※当日、回答できなかったご意見への回答

【第2回地域と市長の対話会】

中野新町集会所付近の車道と歩道の境界が狭く、車が入れない。

A.

場所の特定及び詳細を把握したいため、建設課までお知らせください。

その他

【第2回地域と市長の対話会】

平成12年に購入した土地と公衆用道路について、周辺地権者と土地の境界について議論しているが、測量がバラバラで市にも入っていただきたい。

A.

場所の特定及び詳細を把握したいため、建設課までお知らせください。

その他

【第2回地域と市長の対話会】

人間ドックの負担額が大東市との差があり、考慮して欲しい。

A.

人間ドックについては、各市で契約しており、四條畷市は人間ドックを専門とする医療機関を含め8医療機関で実施しております。人間ドックの自己負担額については四條畷市21,200円、大東市12,000円で、契約金額及び助成率も異なっております。今後、他市の実施状況を踏まえて契約方法等を検討してまいります。

参考意見